

親子で防災キャンプ



- ◆事業目的：①防災への意識を高め、災害に対しての心構えをつくる。
②災害時に役立つ技術を習得してもらう。
③活動する中で、親子や家族同士のふれあいをはかる。

◆参加者数：10家族 25名

◆2日間を通して、仮想避難所の設営や実際の避難所について情報共有、被災時を想定した野外炊事を行いました。避難所体験では、段ボールや寝袋などの物資を配り、今晚の寝床づくりを行いました。隣の家族とのパーティーは、家族同士で話し合い、それぞれ段ボールを出し合ってスペースを確保していました。夜には「愛川町災害ボランティアネットワーク」の方から、実際の避難所の様子を写真などで紹介してもらい、防災の知識を高めました。一夜明けて、避難所での寝心地を聞いてみると、寝づらかった方も数人いたようです。昨今、災害がいつ起こり巻き込まれるかわかりません。体験したことを生かして、快適な寝床づくりの道具や、食料などを準備してください。そして、各家族の地域に合わせた防災マニュアルを作成してもらい、防災意識を高めていただければと思います。(文責：清水)

協力団体：愛川町災害ボランティアネットワーク

担当スタッフ：さく、だいち、おーちゃん、とうちゃん、ひめちゃん、ゴルゴ、メロス